



「ハチ公小径」に

こ
みち

フードエリアがオープン

にぎわうハチ公小径

大館市大町商店街振興組合(横井伸一理事長)で、かねてから計画していたハチ公小径のフードエリアが、昨年12月17日にオープンし、たくさんの方々でにぎわっています。

フードエリアは、パキスタン料理、軽食、オリジナル料理、郷土料理、ここでしか買えないオリジナル商品を販売する店の5店。この小径が、中心市街地活性化の起爆剤になることが期待されます。

ハチ公小径は、旧正札竹村ビルの一部を解体した跡地に出来た幅8m、長さ60mの通りで、馬喰町と中町を結びます。市が平成21年度に整備し、昨年4月にオープンしました。

同振興組合では、ハチ公小径を10年間無償で借り受け、事業費の3分の2を国が負担する「中小商業活力向上補助金」を活用して、これまで大型スクリーンや音響機器を設置しています。

以後、市民の憩いの場や大型スクリーンを活用したサッカークリートの観戦会、B級グルメ大会や音楽会などのイベントスペースとして活用されてきました。

今回設けられたフードエリアは大町地区のにぎわい創出の目玉ととらえ、買い物帰りや通院の帰りなどに気軽に立ち寄れる場所として、また、開設費用を抑えて出店出来る起業支援の場として位置付けています。

お問い合わせは 商工観光課商工係 ☎43-7071